

# CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)グッドフィール八代古閑浜店新築工事(駐車場棟)	階数	地上1F		
建設地	熊本県八代市古閑浜町2674-1番地	構造	S造		
用途地域	区域区分指定なし、防火指定なし	平均居住人員	191人		
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	4,550時間/年		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2014年6月 予定	評価の実施日	2014年5月30日		
敷地面積	10,414㎡	作成者	西原		
建築面積	2,370㎡	確認日	2014年6月2日		
延床面積	2,359㎡	確認者	杉本		

## 1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

環境品質 G

環境負荷 L

BEE = 0.5

■ BEE(環境効率) =  $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能(ランク表示)

排出率

71%

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

★★★★★

BEE = 0.5

■ BEE(環境効率) =  $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能(ランク表示)

排出率

71%

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

評価点

**63**

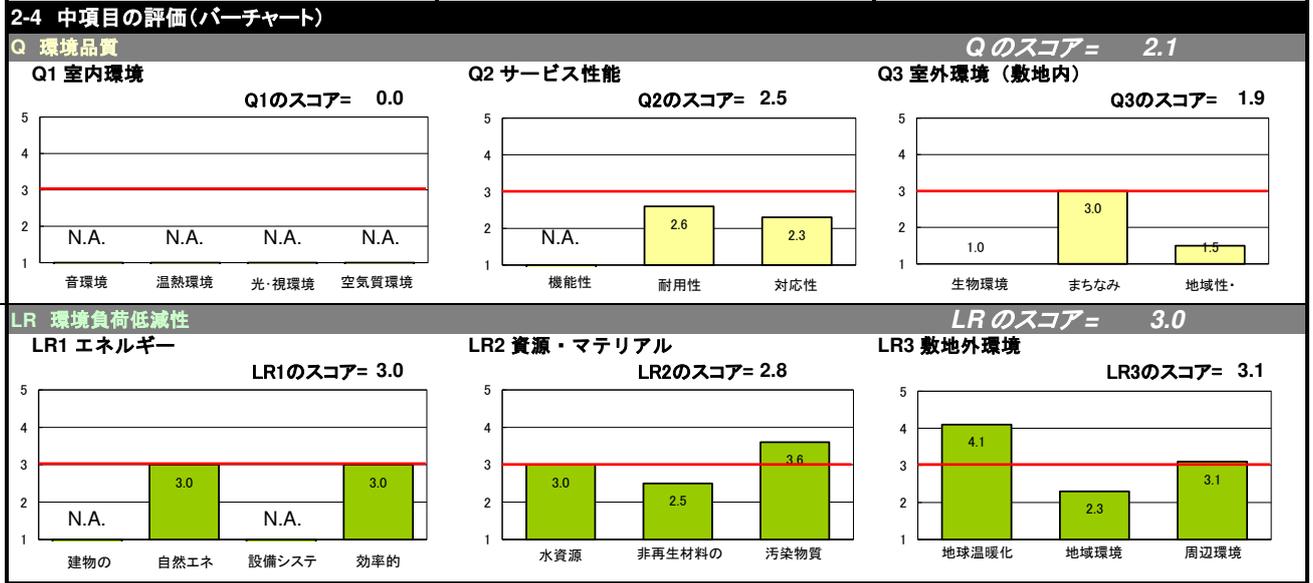
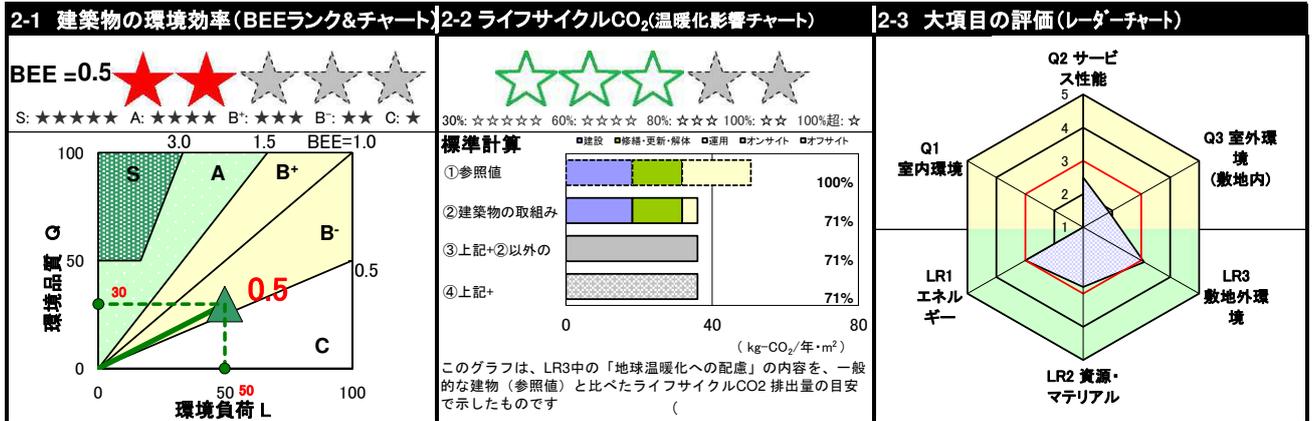
重点事項	評価点	熊本県重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	68.7	<table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td>★★★★★</td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td>★★★★</td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td>★★★</td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td>★★</td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td>★</td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上	★★★★★	80点以上100点未満	★★★★	60点以上80点未満	★★★	40点以上60点未満	★★	40点未満	★
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上	★★★★★													
80点以上100点未満	★★★★													
60点以上80点未満	★★★													
40点以上60点未満	★★													
40点未満	★													
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	45.0													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0													
【重点事項4】 循環型社会の実現	58.5													

# CASBEE 熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

■ 使用評価マニュアル：CASBEE 熊本 (建築版) 2010年評価Ver.2 (BPI/BEI/LEI) | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グッドフィール八代古閑浜店新築工事(駐車場棟)	階数	地上1F
建設地	熊本県八代市古閑浜町2674-1番地	構造	S造
用途地域	区域区分指定なし、防火指定なし	平均居住人員	191人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,550時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年6月 予定	評価の実施日	2014年5月30日
敷地面積	10,414 m <sup>2</sup>	作成者	西原
建築面積	2,370 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月2日
延床面積	2,359 m <sup>2</sup>	確認者	杉本



■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応)

(仮称)グッドフィール八代古閑浜店新築工事(駐車場棟) 欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル								
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 負荷変動・追従制御性								
3 外皮性能								
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御								
3 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
2 アスベスト対策								
3 タニコビド等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 サービス性能</b>			0.43					<b>2.5</b>
<b>1 機能性</b>								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.6</b>	0.52					<b>2.6</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.5</b>	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.50					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.50					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	-					
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	-					

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			2.0	0.19		
1	空調・換気設備		3.0	0.25		
2	給排水・衛生設備		1.0	0.25		
3	電気設備		3.0	0.25		
4	機械・配管支持方法		-	-		
5	通信・情報設備		1.0	0.25		
3 対応性・更新性			2.3	0.48		2.3
3.1 空間のゆとり			1.0	0.31		
1	階高のゆとり		1.0	1.00		
2	空間の形状・自由さ		-	-		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		
1	空調配管の更新性		-	-		
2	給排水管の更新性		-	-		
3	電気配線の更新性		3.0	1.00		
4	通信配線の更新性		-	-		
5	設備機器の更新性		-	-		
6	バックアップスペースの確保		-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57		1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30		1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50		
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		3.0
LR1 エネルギー			-	0.40		3.0
1 建物の熱負荷抑制			-	-		-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.50		3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化			-	-		-
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		#VALUE!	-	-		-
集合住宅の評価			3.0	-		-
4 効率的運用			3.0	0.50		3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		2.8
1 水資源保護			3.0	0.15		3.0
1.1 節水			-	-		-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63		2.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		
1	消火剤	フロンは使用していない。	4.0	1.00		
2	発泡剤(断熱材等)		-	-		
3	冷媒		-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30		3.1
1 地球温暖化への配慮		一般的な建物に対して75%以下。	4.1	0.33		4.1
2 地域環境への配慮			2.3	0.33		2.3
2.1	大気汚染防止	大気汚染の発生源が存在しない。	5.0	0.25		
2.2	温熱環境悪化の改善		1.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.33		
2	汚水処理負荷抑制		-	-		
3	交通負荷抑制		3.0	0.33		
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33		
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	1.00		
2	振動		-	-		
3	悪臭		-	-		
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	砂塵の抑制		1.0	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			3.6	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	窓が存在しない。外壁自体の存在も少ない。	5.0	0.30		

# CASBEE<sup>®</sup> 熊本《新築》【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

特になし

### Q1 室内環境

特になし

### Q2 サービス性能

特になし

### Q3 室外環境（敷地内）

特になし

### LR1 エネルギー

LED照明器具の採用

### LR2 資源・マテリアル

特になし

### LR3 敷地外環境

燃焼機器が存在しない

### その他

## 熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)グッドフィール八代古閑浜店新築工事(駐車場棟)

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010\_kmt2011(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		63.2
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				68.7	0.40	27.48
Q1-2.1.3	外皮性能	0.0	0.00			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	0.0	0.00			
Q1-3.2.2	昼光制御	0.0	0.00			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	0.0	0.00			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.50			
LR1-3	設備システムの高効率化	0.0	0.00			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.25			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.25			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				45	0.20	9.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.20			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.27			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.20			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.50			
LR2-1.1	節水	0.0	0.00			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.50			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				58.5	0.20	11.70
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.5	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

## ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

## ◆総合評価結果

$$\text{総合評価点} = (\text{各重点事項の評価点} \times \text{各重点事項の重み係数}) \text{の総和}$$

※重み係数の総和は、「1」であること。

## ◆各重点事項(①～④の項目)

$$\text{評価点} = (\text{各重点項目のスコア} \times \text{各重点項目の重み係数}) \text{の総和} \times (5/4) \times 20$$

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20: スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数